

令和元年 11月 28日

明日香村長 森川 裕一 殿

明日香村総合計画策定審議会

会長 木下 正史

第5次 明日香村総合計画案について（答申）

平成30年10月2日付け明総政第78号にて諮問された、第5次明日香村総合計画について、次のとおり答申する。

明日香村は、我が国の律令国家体制が初めて形成された時代の中心的地域であるとともに、飛鳥文化が開花した時代の舞台となった地域である。そのため、明日香村全域にわたって宮跡等の遺跡、万葉集にうたわれた著名な地形・地物等の重要な歴史的文化的遺産が数多く存在し、他に類を見ない極めて重要な歴史的風土を形成している。この歴史的風土は国民の財産であり、「歴史的風土の創造的活用」が方針として位置づけられた後、住民による歴史的風土を活用した活動が、地域の活性化に繋がりをみせているが、人口の減少や地域経済の波及効果も低いなど、依然村を取り巻く状況は非常に厳しい状況となっている。

このような状況の中、前計画を引き継ぎながらも、明日香村が明日香村らしくあるために、唯一無二の価値ある資源の中で生きるすべての人々が、相互に絡み合い、目指すべき共通の将来像と実現への道筋を明らかにした、共有すべき指針となる新たな総合計画が必要とされている。

心のふるさと明日香を次代に引き継げるよう、明日香村の価値と現状を共有し、「いつまでも住み続けたいと思える夢ある村」と、五感で体感できる「明日香まるごと博物館」づくりを目指し推進するため、本計画案は長期的な展望にたって施策の大綱や目標を策定され、適切なるものとして答申する。